

第66回 Hokkaido MSW Association

北海道医療ソーシャルワーク学会

ご挨拶



一般社団法人
北海道医療ソーシャルワーカー協会
会長 木川 幸一

第66回北海道医療ソーシャルワーク学会のオンライン開催にあたり、主催者であります当会を代表いたしまして、開会のご挨拶をさせていただきます。

昨年開催しました第65回学会は、函館市を中心とする南支部主管でオンライン開催しました。第66回学会は、札幌市中央区、北区、石狩を中心とする中央B支部主管で、昨年に引き続き完全オンライン開催に至りました。この間の関係各位のご尽力に心から感謝申し上げます。

本学会においても、オンサイト開催は断念しましたが、オンライン開催後にはオンデマンド配信し、講演、研究発表は期間中、何回でも閲覧可能なことから会員の好きな場所で、好きな時間に、最新の研究成果や情報を得ていただくことが可能となっております。

今後についてもオンサイトとオンラインのメリットを検証し、学会開催をしていきたいと考えております。

学会テーマ「地域に根差す医療ソーシャルワーカーの価値と魅力」～AI化できない専門性～のもと、講演、研究発表などで大いに学んでいただき、実践に活かしていただければと思います。

最後に、ご後援を賜りまして札幌市、札幌市医師会をはじめ多くの関係機関、関係団体からの様々なご支援、ご協力に対して、厚く御礼申し上げますとともに、本学会が実りの多い学会になりますことを祈念して、開会のご挨拶とさせていただきます。

学会長挨拶



第66回北海道医療ソーシャルワーク学会
学会長 志田 大和(中央B支部長)

このたび、中央B支部と教育部が主管となり、第66回北海道医療ソーシャルワーク学会を開催させていただくことになりました。開催にあたり、多くの関係機関、関係団体、企業の皆様からご支援ご協力を賜り、準備を進められたことを心から感謝し、お礼申し上げます。

本学会では、AIが進む現代において、AIに代替される可能性が低いと言われているMSWの専門性からその価値を見直し、地域に根差した支援について皆様と共に考える機会になればと思い、趣旨、テーマを考えました。また、MSWに限らず医療や福祉に携わる専門職の方々にも参加いただきやすいように会員・非会員問わず参加費を無料とし、オンライン開催としております。この機会に多くの職種の方々にもMSWの専門性についてご理解をいただくと共に、当団体の魅力を存分に感じ、興味をもっていただけたらと思います。

学会の内容ですが、医療や福祉の現場とは違う視点で地域活動のおもしろさやMSWの魅力について学べるように、特別講演にレモンさん(山本シュウ氏)、基調講演にstudio-L代表の山崎亮先生を講師にお招きしております。

AI化できない専門性や地域活動の実践共有の場となるように中央B支部の運営委員が考えた「Join Us! ~テーマ別フィールドトリップ~」は4つのテーマ毎にディスカッションができる参加型企画を準備しております。また、演題発表は幅広い分野から6演題お寄せいただき、どの演題も実践での課題に向き合う姿勢がまとめられております。

本学会では日々の実践や新しい知見を共有する場の他に、もっと成長したい、もっと学びたいという意欲に繋がる機会になればと思い、運営委員一同が提案を出し合い準備を進めてきました。多くの方が参加し、本学会が皆様にとって実りある一日となることを願い、開催の挨拶とさせていただきます。

第66回 北海道医療ソーシャルワーク学会

学会テーマ「地域に根差す医療ソーシャルワーカーの価値と魅力」

～AI化できない専門性～

学会趣旨

2025年問題が目の前まで迫り、日本はこれから超高齢社会を迎えることで医療・介護の需要増大や、北海道は特に過疎化の深刻化や地域のつながりの希薄化などの社会問題があげられている。

医療ソーシャルワーカーはクライアントと社会との接点に介入し、地域にも視点をあてた支援を展開するが、医療現場では病床機能の分化・連携の促進が進められ、効率的・効果的な医療提供の取り組みのためAI技術の導入やICTの活用が推進されてきた。AIがデータ分析や識別が出来ることで業務の効率化に繋がるが、米国の研究ではAIの進化によって10～20年後には労働人口の約47%が就いている職業はAIに代替することが可能と推計され、日本を分析対象とした研究でも日本の労働人口の約49%が就いている職業が機械によって代替される可能性が高いと言われている。これに対し、創造性、協調性が必要な業務や非定型な業務はAIによる代替可能性が低い職業と言われており、その中に医療ソーシャルワーカーがある。これは医療ソーシャルワーカーがクライアントの個別性を尊重し、複雑化した課題をクライアントと共に解決することが人工知能やロボット等での代替が難しいためである。

AIに取って代わられない存在であり続けるためには、私たち医療ソーシャルワーカーは時代が変わってもソーシャルワークの価値を大切にクライアントが生活する地域にも視点をあてることを忘れてはいけない。そのために医療ソーシャルワーカーは地域の実情を把握し、クライアントが暮らしやすい環境を考える必要がある。本学会を通して、人と人、人と地域のつながりについて見つめなおし、地域における医療ソーシャルワーカーの役割について共に考える機会としたい。

主 催 一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会

開催主管 一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会 教育部 中央B支部

日 程 2023年7月22日(土) 9時00分～17時00分

開催方法 オンライン・オンデマンド開催

学 会 長 志田 大和(市立札幌病院/北海道医療ソーシャルワーカー協会中央B支部長)

参 加 費 無料

後 援 札幌市、一般社団法人 札幌市医師会、一般社団法人 札幌市介護支援専門員連絡協議会、一般社団法人 北海道医師会、一般社団法人 北海道歯科医師会、一般社団法人 北海道薬剤師会、一般社団法人 北海道病院薬剤師会、公益社団法人 北海道看護協会、公益社団法人 北海道理学療法士会、公益社団法人 北海道作業療法士会、一般社団法人 北海道言語聴覚士会、一般社団法人 北海道歯科衛生士会、公益社団法人 北海道社会福祉士会、一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会、一般社団法人 北海道介護福祉士会、一般社団法人 北海道介護支援専門員協会

学会スケジュール ※当日事情により変更する場合があります。

オンデマンドの期間等は後日お知らせいたします。

9:00 (10分)	開会	開会挨拶 木川幸一（北海道医療ソーシャルワーカー協会会長） 志田大和（学会長）
9:15 (90分)	特別講演	講師：レモンさん（NHK Eテレ「バリパラ」司会者、ラジオ DJ） 全国のお坊さんも聴きに来るレモンさんのお話 『MSWはAIとも共同できる愛の志事（しごと）』 座長：志田大和（市立札幌病院）
11:00 (90分)	基調講演	講師：山崎亮（studio-L 代表、情熱大陸出演） 『医療と地域をつなぐコミュニティデザインの可能性』 座長：黒澤智尚（小規模多機能ホームゆかい西野）
12:30 (60分)	休憩	
13:30 (60分)	参加型企画	テーマ：Join Us！～テーマ別フィールドトリップ～ テーマ別 4 グループ
14:45 (120分)	演題発表	6 演題 座長：保科健（斗南病院）
16:50 (10分)	閉会	閉会挨拶 山田悠平（運営委員長）

演題発表

座長 保科 健（斗南病院）

演題 1. 笹谷 亮平（手稲溪仁会病院）

転院調整における医療機関の情報の齟齬についての一考察

演題 2. 平山 真弓（NTT 東日本札幌病院）

急性期病院小児科にかかる小児患者とその家族へのソーシャルワークの実際

演題 3. 高泉 一生（専門学校北海道福祉・保育大学校）

北海道における通院困難患者の実態と支援に関する一考察

演題 4. 橋本 恭尚（真栄病院）

身寄りのない患者に対するソーシャルワーク支援の困難要素について

演題 5. 吉野 夕香（北海道医療大学病院）

北海道の医療ソーシャルワーカーによる歯科医療との連携に関する実態調査

演題 6. 玉川 侑那（北海道大学病院）

高次脳機能障害の支援普及に向けて当事者と共に取り組んだソーシャルワーク実践

特別講演

全国のお坊さんも聴きに来るレモンさんのお話 『MSWは、AIとも協働できる愛の志事（しごと）』

日程：7月22日（土）9：15～10：45（90分）

座長：志田大和（市立札幌病院）



講師：レモンさん（山本シュウ）
（NHK Eテレ『バリバラ』司会者、ラジオDJ）

1964年、大阪府門真市出身。

ビタミンラジオ局(オンラインサロン)の局長&ラジオDJ。

大きなレモンの被り物をし、「レモンさん」というキャラクターで小学校のPTA会長を5年間務めた。その後は「オセッカイダー・レモンさん」として、NHK Eテレ「バリバラ」の司会。国立大学の非常勤講師。厚生労働省主催のAIDS啓発をプロデュース。スポーツメンタルコーチ。YouTube「全国こどもYouTube相談チャンネル」。講演会や勉強会を全国で開催。その全てが「お節介な活動」略して「お節活」。

今年の6月には「一般社団法人オセッカイダー」を設立し、「We are シンセキ！」を合言葉に全国にお節活を広げている。




レモンさん

(B級ヒーローキャラのおセツカイダー(お節快人))

- **エデュテイナー**
エデュケーション(教育)とエンターテイメント(楽しさ)を合わせたエデュテイメントする人
- **講演会・セミナー講師**
- **NHK Eテレ「バリバラ」の司会**
- **ラジオ DJ「ビタミンラジオ局」(局長兼 DJ)**
- **YouTube「全国子どもYouTube相談チャンネル」**
- **スポーツメンタルコーチ(一般社団法人 フィールド・フロー認定スポーツメンタルコーチ)**
- **大阪大学「教職論」非常勤講師**
- **HIV/ AIDS 啓発(厚生労働省)「RED RIBBON LIVE」総合プロデューサー**
- **災害支援プロジェクト「ラジオバトンプロジェクト」**
- **書籍:「レモンさんのPTA爆談」(小学館)**
「レモンさんの子育てビタミン標語」(小学館)

 Facebook



 Instagram




 Twitter



 LINE



 HP



基調講演

『医療と地域をつなぐコミュニティデザインの可能性』

日程:7月22日(土) 11:00~12:30 (90分)
座長:黒澤智尚(小規模多機能ホームゆかい西野)



講師:山崎亮(やまざきりょう)
Studio-L代表

1973年愛知県生まれ。

大阪府立大学大学院および東京大学大学院修了。博士(工学)。社会福祉士。

建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005年にstudio-L を設立。

地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。

まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトが多い。

著書に『コミュニティデザインの源流(太田出版)』、『縮充する日本(PHP新書)』、『地域ごはん日記(パイインターナショナル)』、『ケアするまちのデザイン(医学書院)』などがある。

13:30～14:30

参加型企画

Join Us！ テーマ別フィールドトリップ

このテーマはAIが考えました



人生は選択の連続です

言語や食事、移動だけでも人は1日2万回近い選択を無意識にしているそうです。

普段ソーシャルワークを実践している中でクライアントに様々な選択肢を提示することがありますが、いざ自分が提示される側に立つと選択という行為がいかにかエネルギーを要するかわかります。優柔不断な私も参加者だったらどのグループにしようか迷うところです。それくらいどのグループも魅力的な内容となっております。

選びたい・・・選べない・・・でも選ばないと！！！！

まずは4つのグループの概要についてご覧ください。

当日は出入り自由で、後日オンデマンド配信も予定しています。ですが、オンラインでしか味わえない楽しみもあり、AIが決めたテーマにもある、“フィールドトリップ感”をご堪能下さい。



Aグループ【学生】

学生向け企画 MSWってどうやってなるの？

学生の心配事のひとつ。就活に関する不安。
学生は興味を見つけ現役MSWは初心に戻れる
そんな企画を思い描きました。

担当 黒澤 智尚 [小規模多機能ホームゆかい西野]

ファシリテーター 石田 潔 氏 [小樽中央病院]
兼 実践報告

清野 圭司 氏 [札幌白石記念病院]

田上 幸輔 氏 [静明館診療所]

不動 宏平 氏 [真栄病院]

たくさんの現役MSW・学生の方の
参加待ってます！



【ミーティングID】 824 4864 3657

【パスコード】 786258



Bグループ【地域活動】

もしもソーシャルワーカーが
地域に出向いたら～石狩さんぽ編～

MSWが石狩市内で行っている活動を通して、人との出会い、地域に出ることの楽しみ、新たな発見をお伝えします

担当 小木 絢介 [花川病院]

実践報告 富居 潤一 氏 [花川病院]

飯田 鉄蔵 氏 [いしまちひろばメンバー]



【ミーティングID】 897 3081 3486

【パスコード】 639161



Cグループ【障害と医療】

高次脳機能障害患者の地域生活に向けた他職種連携
～うさぎとネコと時々ウーバー～

障害と医療 # 他機関連携 # 脱施設化 # ガンダムとともに

高次脳機能障害と難病を抱えながらも
自分らしい生活を送るため
日々地域で奮闘するぶんたさんの生活と、
側で見守る“仲間達”の実践についてお送りします

担当 玉川 侑那 [北海道大学病院]

実践報告 松本 ほたる 氏 [相談支援事業所 ほたるさんの相談室]

長屋 智美 氏 [訪問看護リハビリステーション 白ゆり]

ビデオ出演 ぶんた 氏 [当事者]



【ミーティングID】 822 3873 2760

【パスコード】 650361

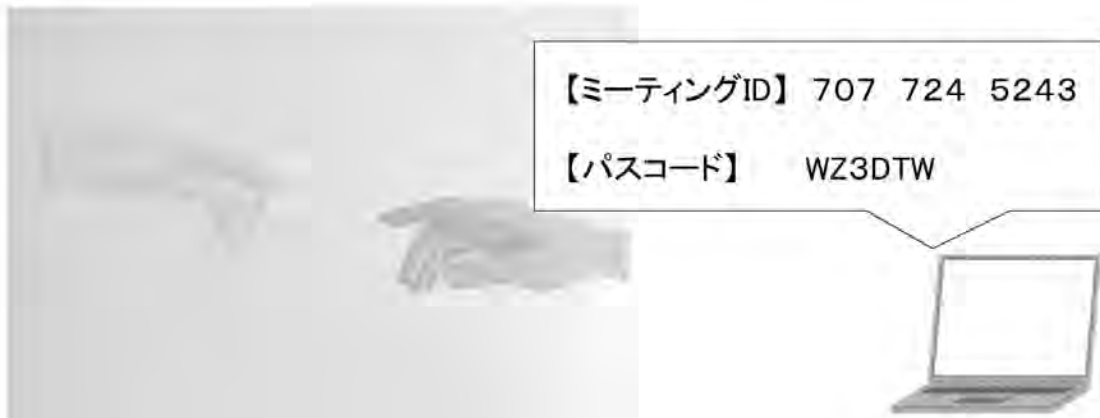


Dグループ【在宅と病院の連携】

在宅との連携とAIにはできないMSWの支援

「MSWという“人”による支援」
「AIという“機械”による支援」を
在宅との連携事例を用いて、
違いについてイメージを膨らませます。

- 担当 鈴木 基之 [札幌西円山病院]
- 実践報告 中山 礼奈 氏 [札幌西円山病院在宅ケアセンター]
- 貝田 将隆 氏 [札幌西円山病院]
- 寺口 真衣 氏 [手稲区第1地域包括支援センター]



演題発表

【演題名】 転院調整における医療機関の情報の齟齬についての一考察

【発表・共同発表者】 笹谷 亮平¹、大畑 玖留実²、岡田 溪¹、奥名 和希³、川原 綾乃⁴、
渡邊 花音²

【所属】 1 手稲溪仁会病院・2 イムス札幌消化器中央総合病院・3 札幌田中病院・
4 イムス札幌内科リハビリテーション病院

【目的】

当研究グループの構成員は、急性期・回復期・療養のそれぞれの機能の病院に所属している。グループ内で悩みを共有する中で、転院調整において医療機関の役割の違いによるジレンマや、患者の転院時に転院先からの事前の患者情報と受け入れ時の状態や患者・家族の意向等が異なっていることが散見されるといった話題でそれぞれの立場からの意見が出た。そこで本研究は、転院調整の際に、転院を依頼する側（以下、送る側）、依頼を受け入れる側（以下、受ける側）の間で起こる齟齬について実態を調査し、齟齬を減らすために医療ソーシャルワーカーとして何ができるか検討することを目的とする。

【方法】

調査方法：アンケート方式

対 象：北海道医療ソーシャルワーカー協会 中央E支部の会員のうち、医療機関に所属する者 94名

調査期間：2023年1月23日～2月6日

回 答 数：34名（回収率：36.2%）

【結果】

（回答者の属性）

送る側が56%、受ける側が32%、両方あるが12%であった。また、経験年数2年目が9%、3～5年目が27%、6～10年目が18%、10年目以上が47%であった。

（齟齬の内容）

「指摘されたり、家族からクレームを受けるなどして、齟齬があったことがありますか？」について、「ある・過去にあった」と回答した人は送る側が74%、受ける側が78%であった。上記の回答者のうち、起きる頻度について、最も多い回答は、送る側は「過去にあったが今はない」で44%、受ける側は「半年に1回以上」で78%であった。どのような項目で齟齬が起きているかについて、アセスメントの際

演題発表

に必要な情報をグループ内で共有し、①経済面、②患者・家族の意向、③患者の状態、④患者の基本情報の4つに分類し質問した。

①経済面 あると回答した人は送る側が64%、受ける側が85%である。そのうち内容は、送る側は「入院費用」が29%と最も多いのに対し、受ける側は「収入面」、「借金や過去の滞納、未収」が何れも30%と最も多い。

②患者・家族の意向

送る側、受ける側共に回答者全員があると回答した。内容は、「本人・家族の転院に対する受け止め」「本人・家族の受け入れ病院に対する理解」と回答した人は送る側が57%、受ける側が50%である。

③患者の状態

あると回答した人は送る側が82%、受ける側が95%である。内容は、「全身状態の変化」で送る側が47%であるのに対し、受ける側は83%と全項目中、一番高い割合である。

④患者の基本情報

あると回答した人は送る側が53%、受ける側が89%である。受ける側で最も齟齬がある項目は「キーパーソンの理解力」で61%である。回答者全員が、転院調整の際、①から④の4つの分類で最も重要視している項目は「②患者・家族の意向」となり70%と最も多い。

【結論】

上記①より、送る側で最も多くあると回答した項目は「入院費用」で、送る側の説明不足や回復期病棟などである病棟特有の加算への理解不足などが要因として考えられる。上記②より、送る側・受ける側ともに回答者全員があると回答し、他の項目に比べて特徴的であった。しかし、送る側・受ける側ともに転院調整をする際に最も重要視しているのは「患者・家族の意向」であり、重要視しているが故に齟齬を感じることも多いと考える。上記③より、送る側では転院上問題視されない処置・状態であっても、受ける側では対応できるとは限らないという医療機関の機能・体制の違いを送る側が十分に認識していないこと等が要因と考えられる。上記④より、送る側では患者・家族と短期間での関わりとなるケースが多く、送る側のアセスメント不足、患者・家族の受け止めが不十分なまま転院調整となる時間の短さが要因と考えられる。すべての項目において受ける側が工夫していることは「相手の病院から意識的に聞くようにした」が最も多い。つまり、受ける側は患者・家族の全体像を想像するため、能動的な質問により必要な情報を補う意識があるのではないか。お互いが同じ全体像を捉えることが出来、継続した支援ができることが重要である。よって齟齬を減らすためには、送る側から全体像を想像しやすい患者・家族像を受ける側に伝えること、そして受ける側も送る側から聞いた情報を元にアセスメントし、互いの患者・家族像を正確に共有することが重要だと考える。

演題発表

【演題名】 急性期病院小児科にかかる小児患者とその家族へのソーシャルワーク の実際

【発表・共同発表者】 平山 真弓¹、塙 和江¹

【所属】 1 NTT東日本札幌病院

【目的】

当院は23の診療科と15のセンターを有する急性期病院である。小児科は一般外来と5つの専門外来（児童精神科は2022年度より縮小）があり入院治療も行う。小児科では入退院支援加算1と養育支援体制加算を算定する。これまで小児科患者への医療ソーシャルワーカー（以下、MSW）の介入は、経済面の相談など突発的な対応であった。2019年4月に産科小児科病棟での入退院支援加算1算定開始に伴い、産科小児科を担当するMSWが設置された。本研究は、急性期病院の小児科担当MSWの実践の実際と課題を明らかにする。

【方法】

2020年1月から2022年12月までにMSWが新規介入した小児科患者261名を対象とし、1. 対象者の属性の集計、2. MSWの実践内容についてKJ法を用いた分析を行った。尚、本研究については患者が特定されないよう配慮した。

【結果】

対象患者の年齢は「0歳」が41%と最多で、男女比はほぼ同程度だった。初回介入時の受診状況は、「外来」「入院」がほぼ同程度だった。キーパーソン（主な相談者）は、「母」が60%で、「父」「保健師」「知人」が続いた。MSWへの介入依頼元は、「医師」「病棟看護師」「小児科と産科の外来看護師」の院内職員が72%で、「家族」「児童精神科医」「保健師・家庭児童相談室」「周産期からの介入」「学校」が続いた。家族の背景には「父母に精神疾患を有する」が40%で多く、「ひとり親」「家族内にDV・暴力がある」「父母が発達障害や知的障害を有する」「コンプライアンス不良」「父母が若年」「父母が外国人」「コロナ感染症による離職」「多子」「家族に障害や疾病がある」など多岐にわたった。MSWの実践内容は大項目として「保健師と連携した外来患者の支援」「児童精神科関連」「家族の不安定さへの介入」「小児慢性特定疾患やダウン症等の制度活用」「児童虐待やDVへの対応」「周産期からの介入」「受診・健診予約調整」「社会資源の情報提供」「保健師からの依頼」「発達への悩み」などのカテゴリーが抽出された。カテゴリーの中で「保健師と連携した外

演題発表

来患者への支援」が最も多く、精神疾患を抱える家族などの養育環境の不安定さに対し、保健センター保健師と状況や課題を共有し役割分担して支援した。保健師との関係形成の中で「保健師からの依頼」も増えた。次いで多いカテゴリーは「児童精神科関連」で、その中でも78%に「母への支援」を実施していた。「母の抱く患者との関わり方の悩み」や「母自身の精神疾患による不安定さ」に対し、母の関わり方や考え方などを持続的支援し、これからを一緒に考える“母と伴走する支援”が多かった。また、児童精神科の診察時に患者と家族それぞれに個別面接を行い支援した。更に、学校や相談室などの関係機関とオンラインケース会議を開催し患者・家族に連携して対応した。組織内での取り組みでは、2020年度に児童虐待通告4件と周産期に発覚したDV2件への対応から、小児科医長と協同して「児童虐待対応の取り組み」をまとめ、2021年児童虐待対応チーム“NTT-ChiPS”を立ち上げた。

【結論】

小児科担当MSW設置後3年間のソーシャルワークの実際と課題を、下記の通り整理した。

- ・多岐にわたる患者・家族の背景に合わせたソーシャルワークの実施。特に、精神疾患を有する家族などに持続的支援と「伴走する支援」の実施。
- ・小児周産期特有の社会保障制度や社会資源の情報提供と調整、体重増加不良や発達などの育児の悩みへの対応。
- ・各関係機関とのネットワークの構築。
- ・児童虐待やDVでは、患者・家族への支援と院内チームへの働きかけを行う。特に、子どもとの個別面接は、子どもへの影響を念頭に置き慎重に行う必要がある。子ども面接の特徴理解や技術向上は課題の1つと考える。

演題発表

【演題名】 北海道における通院困難患者の実態と支援に関する一考察

【発表・共同発表者】 高泉 一生¹、石田 潔²、関 建久³、榊原 次郎⁴、田巻 憲史⁵、
奥村 奈緒子⁶、玉川 侑那⁷、小倉 睦美⁸

【所属】 1 専門学校北海道福祉・保育大学校、2 小樽中央病院、3 北見市医療・介護連携支援センター、
4 名寄市立大学、5 帯広協会病院、6 天使病院、7 北海道大学病院、
8 北海道消化器科病院

【目的】

今後、北海道はケア資源（訪問診療や通院介助等）の不足や偏在化から、通院困難問題が顕在化する懸念がある。2022年度、北海道医療ソーシャルワーカー協会社会活動部において、通院困難問題の深刻化を防ぐために行政及び現場レベルで講じるべき対策を協議し、提案を行うことを活動目的とした通院困難患者支援専門部会（以下、部会）が発足した。部会では、北海道の通院困難患者やその支援の実態把握を第一の課題とした。本稿の目的は、北海道における通院困難患者やその支援に関するデータの収集、分析を踏まえて、通院困難の背景や構造、支援上の課題を明らかにし、通院困難問題の解決に向けたソーシャルアクションを展開するための土台を構築することである。

なお、本稿における「通院困難」とは、自身が抱える疾患に対応することができる専門医のいる直近の医療機関へ通院できない実態を指す。

【方法】

同協会の会員（925名）、北海道の介護支援専門員（居宅介護支援事業所と地域包括支援センター1826箇所）及び相談支援専門員（相談支援事業所261箇所）を調査対象とし、アンケート調査（Google フォームにて回答するインターネット調査）を実施した。調査期間は令和5年1月20日から令和5年2月6日とし、調査への協力はメールやFAXにて依頼した。調査項目は通院困難患者支援の経験、通院困難患者の医療ソーシャルワーカー（以下、MSW）介入状況、通院困難の発生要因、通院困難問題の解決に向けたアイデア等を設け、数値データを記述統計として整理し、自由記述に対し質的分析を行った。

倫理的配慮として、データをパスワード管理のもとクラウド保管し、個人情報保護を行い、結果の統計処理によって回答した個人が特定されないよう留意した。なお本調査は、部会責任者の所属機関である小樽中央病院の倫理審査委員会の審査を受け、承認を得た。

演題発表

【結果・考察】

回答率はMSWが6.6% (n=61)、介護支援専門員及び相談支援専門員 (以下、ケアマネ等) が6.5% (n=136) であった。通院困難患者支援の経験ありは、双方が75%強であった。回答率に課題は残るが、通院困難患者への支援は北海道の一般的な課題と考えられた。

通院困難患者のMSW介入状況は、通院困難患者のケアマネ等からの相談をMSWの70%強が経験していたのに対し、通院困難患者発生時のMSWへの相談はケアマネ等の35%のみの経験であった。また、通院困難の発生要因は、ケアマネ等の30%弱が通院先の問題を回答し、10%強が訪問診療の依頼拒否を経験していた。以上から、通院困難患者を巡るケアマネ等による医療機関との連携困難感が示唆された。また、ケアマネ等の30%弱が通院手段の問題を回答し、40%が通院介助の依頼拒否 (拒否理由のうち人員の問題が66%) を経験していた。さらに、MSWの50%強がケア資源不足を感じており、交通費や通院介助利用費の捻出困難や頼れる家族等の不在、地方の訪問診療不足が自由記載に述べられた点を鑑みると、ケア資源不足が通院困難発生の社会的な主要因である可能性が示された。その他、MSWの45%は通院困難発生の身体的・心理的な要因に着目し、具体例にがん、認知症、腎不全 (透析)、脳血管疾患、要介護状態の重度化、病識の乏しさ等を挙げていた。

通院困難問題の解決に向けたアイディアには、①受療拒否をしない医療機関作りや経済的負担に配慮した通院手段や助成の創出、オンライン診療・ICTの拡大といったケア資源充実化、②通院困難問題を共有・発信・啓発できる地域ネットワークの創設、③通院困難問題の発生予防・早期発見・早期対応に向けた院内連携・地域連携の確立が挙げられた。今後は、先述のアイディアのような先進事例を基に、地域の関係機関と共に通院困難問題の解決に取り組むことが重要と考えられた。

【結論】

北海道における通院困難患者の実態として、通院困難発生の身体的・心理的な要因は疾患に起因した要介護状態の重度化、病識の乏しさ、社会的な主要因はケア資源不足である可能性が考えられた。よって、通院困難患者の支援においては、ケア資源充実化が求められる。また、通院困難患者を巡るケアマネ等による医療機関との連携困難感が示唆され、通院困難問題を共有・発信・啓発できる地域ネットワークの創設は急務である。加えて、通院困難問題の発生予防・早期発見・早期対応に向けた院内連携・地域連携の確立も重要となろう。

演題発表

【演題名】 身寄りのない患者に対するソーシャルワーク支援の困難要素について

【発表・共同発表者】 橋本 恭尚¹、不動 宏平¹、相川 千晶¹、大藤 麻希子¹、中村 葉月¹、
政田 沙織¹

【所属】 1 真栄病院

【はじめに】

当院は2017年に当院独自の「身寄りなし・親族疎遠ケース対応マニュアル」を作成し4類型に分けて支援を展開してきた。ソーシャルワーク支援の困難要素はケース毎に異なり、試行錯誤を繰り返しながら支援を展開しているのが実際である。そこで、過去の支援事例を振り返り、ソーシャルワーク支援の困難要素と実践上の課題を明らかにし、困難を乗り越えるためのより良いソーシャルワーク支援の方途を見出していきたいと考えた。

【目的】

身寄りのない患者へのソーシャルワーク支援の困難要素と実践上の課題を明らかにする。

【方法】

本調査では当院地域医療連携室の5名を対象に個別インタビューによる半構造化面接を1人30分ほど実施した。2022年度に各自が担当した身寄りのない患者（総計25例）への支援を振り返った。質問内容の構成としては、①身寄りのない患者を支援する上で最も困難なこと（マイクロレベル）・②当院の対応や仕組みの改善が必要なこと（メゾレベル）・③地域資源の改善や開発が必要なこと（マクロレベル）についてインタビューを実施した。全て録音し音声データをコード化し、類似した内容をまとめてサブカテゴリー化・カテゴリー化を実施した。

【結果】

インタビュー調査の結果、身寄りのない患者に対するソーシャルワーク支援の困難要素や実践上の課題として、70のコードが抽出され、抽出されたコードから29のサブカテゴリーと27のカテゴリーが生成された。大きく分けて①マイクロレベルの課題、②メゾレベルの課題、③マクロレベルの課題の3つに整理することができた。以下、代表的なカテゴリーを抜粋する。

演題発表

(1) ミクロレベルの課題

『金銭管理に関する課題』『債務整理に関する課題』『当院の入院費用及び公共料金の滞納リスク』『現実検討能力の低さに関する課題』『本人の生き方／価値観』『ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の重要性』『介護施設の受け入れ可否の条件』『一般賃貸アパート契約に関する課題』『意思決定が困難な場合の生活場所決定に関する課題』

『予期せぬ第三者の影響や対応についての課題』『債務整理と退院支援業務の同時対応に関する課題』『私物整理にかかる時間的な制約』『周囲のサポート体制の薄さに関する課題』

(2) メゾレベルの課題

『家財保管と処理方法に関する課題』『他職種との理解と協力体制』

『担当医療ソーシャルワーカー（以下、MSW）の負担感とサポート体制の構築』『私物整理にかかる時間的な制約』

(3) マクロレベルの課題

『身寄りのない方の受け入れ機関の拡充』『成年後見制度（市町村長申し立て）の申請に時間がかかる』『身元保証会社の利用に関する課題』『ゴミ屋敷の清掃に関する公的補助の必要性』『借金整理に関する法律家との連携』

【考察】

ミクロレベルでの課題として、性格由来や病気の発症に伴う理解力の低下等から『現実検討能力』に課題をもつ方が多い。入院期限との時間的な制約の中で患者本人と向き合うMSWの葛藤を垣間見ることができた。また、『債務整理に関する課題』を抱える方も多く、退院先の施設の受け入れ可否にも影響が及ぶといった連動した課題があることも明確となった。

メゾレベルの課題としては、患者自身の対処能力によってはMSWが家族の代わりに全ての手続きや代行行為を行う場合が多い。よって通常ケース以上の労力が必要となり、全てを同時並行で取り組んでいく為、MSWに係る重圧感や困難感につながっていることが明確となった。

マクロレベルでの課題として患者が元々生活していた地域での身寄りのない方の受け入れ可能な病院や施設が乏しく、成年後見制度（市町村長申し立て）の活用までに時間もかかる為、住み慣れた地域での生活が継続できないリスクが生じていた。

【結論】

本研究では身寄りのない患者の支援の困難要素や実践上の課題をソーシャルワークの3つのレベル（ミクロ・メゾ・マクロ）から整理した。

とりわけ、MSWに係る時間的な労力や精神的負担感が著明であり、組織や部署単位でMSWをサポートする体制の構築が必要である。

演題発表

また、身寄りがないことが理由で住み慣れた地域で生活できる権利が脅かされている実態がある為、人権擁護の番人であるMSWが声をあげ、受け入れ機関の拡充への働きかけと共に、自治体とも連帯して体制整備を行っていくことが急務である。

演題発表

【演題名】 北海道の医療ソーシャルワーカーによる歯科医療との連携に関する実態調査

【発表・共同発表者】 吉野 夕香¹、巻 康弘²

【所属】 1 北海道医療大学病院、2 北海道医療大学

【目的】

地域包括ケアシステムにおいて歯科医療に関する連携も進展している（尾崎ら 2016、伊藤ら 2020）。しかし開業を主とする歯科医療機関は、医療機関完結型から地域完結型医療への変化が求められながらも（岩佐 2020）、医科のような機能分化にともなう連携や介護連携といった機会に乏しく、連携業務が確立されていない可能性が報告されている（野村ら 2007）。そこで外来支援やかかりつけ医の機能強化を検討されつつある医科の連携の現状を機運に、外来・入院において連携に従事する医療ソーシャルワーカー（以下、MSW）を対象に、歯科医療との連携状況について調査を行いたいと考えた。本研究では、得られた結果からその内容・方法等を分析し、患者が継続的に歯科医療を受けるために、MSWが歯科医療の連携に関与しているか明らかにすることを目的とする。

【方法】

2022年11月、北海道医療ソーシャルワーカー協会会員905名を対象に調査を行い、同意を得られた58名（回答率6.4%）の回答を分析対象とした。質問項目は、回答者が過去1年間で受けた口腔に関する課題を含む相談件数、口腔に関する情報を取り扱う関係者、歯科医療との連携についての自由回答など14の設問とし、選択肢から単一回答または複数回答、記載内容をGoogle Formsに入力する方法とした。本研究は、北海道医療大学予防医療科学センター倫理審査委員会にて承認を受け実施した（第2022_006号）。

【結果】

回答者が過去1年間で受けた口腔に関する課題を含む相談件数は、「1～9件」48.3%、「10～19件」10.3%、「20件以上」17.2%、「相談は無い」24.1%である。口腔の課題に伴う生活上の課題として対応した支援歴（複数選択）では、「歯科治療の継続」「療養先の選択」がいずれも53.7%、「訪問での歯科診療整備」35.2%、「歯科への通院手段」27.8%と続いた。口腔に関する情報を扱う際の関係者（複数選択）は「本人・家族」93%、「ケアマネジャーや施設職員」89.5%、「院内他職種（歯科以外）」61.4%、「医師」54.4%、「歯科医師」26.3%と、歯科医療従事者以外

演題発表

の者を介して情報を扱っている可能性が明らかとなった。歯科医院との連携頻度は、「半年に1回以上」44.8%、「全くない」34.5%、「月1回以上」12.1%、「週1回以上」8.6%であった。クライアントにとってMSWと歯科医療関係者との連携が十分と思うかとの問いには、「十分ではない」25.9%、「あまり十分ではない」41.4%と7割が十分ではないと回答した。自由回答からは、「院内に歯科医療従事者の配置や歯科訪問診療の利用がある」場合は連携機会があり、「精神疾患や認知症で歯科治療に強いこだわりがある場合、内科と歯科の治療方針の統一が必要と感じる」、「退院支援に関心が高い歯科医師、歯科衛生士も多く、単に触れ合う機会があれば良い情報交換ができる」とさらなる連携機会を求める意見がみられた。また、介護保険の主治医意見書や訪問看護指示書の記載が歯科医師ではなく医師が記載する仕組みが、歯科医師との連携機会の持ちづらさにつながることを指摘する意見もあった。

【結論】

MSWは支援歴の中で、患者の歯科治療の継続や療養先の選択といった生活上の課題に対応していた。回答したMSWの約9割が家族やケアマネジャー等と口腔に関する情報を扱っていたが、約3割は歯科医院との連携経験が全く無く、8割は連携機会が限られていた。MSWと歯科医療関係者との連携について7割が十分ではないとし、連携の必要性を指摘する意見もあった。以上の実態を踏まえ、MSWによる歯科医療との関わりは、患者の関係者を通じて間接的に情報を扱ってはいるものの、歯科医療関係者との直接的な連携が十分ではないことが示唆された。

演題発表

【演題名】 高次脳機能障害の支援普及に向けて当事者と共に取り組んだソーシャルワーク実践

【発表・共同発表者】 玉川 侑那

【所属】 北海道大学病院

【目的】

2016年政府が掲げた一億総活躍プランにて障害や難病、がん患者等が活躍できる環境整備の提言や、地域共生社会という言葉が生まれた。基盤として横断的且つ当事者中心の支援が挙げられたが、現実には縦割りで支援側が属する機関や機能の範囲内に限定される傾向が強い。当院には国の委託事業を受け、特定の疾患や障害を専門とする医療ソーシャルワーカー（以下、MSW）が在籍している。発表者は高次脳機能障害の支援を担い、相談業務や普及啓発活動を行っているが、障害特性の影響から、当事者よりも家族や第三者が支援の中心になりやすく、関連研修や書籍の対象も同様であり、当事者中心の支援の在り方が問われる機会も多い。今回MSWが企画し、当事者主体の普及啓発にも繋がる書籍を製作。障害を持つ当事者家族を含め、地域の支援機関の協力のもと、医療と福祉が一体となったプロジェクトへと発展した。

【方法】

当事者家族へのインタビュー、SW支援記録より原稿作成。制作手段としてクラウドファンディング（以下、CF）を活用。本実践に関して当院の倫理委員会の承認は不要であり、病院内における役員会議での承認は得ている。

【結果】

①「準備期間」 SW支援で関わった小児から成人の7人の当事者家族に書籍に使用する事例提供への同意を得る。当初は商業出版を想定し、道内外の出版社へ企画書を送付し交渉を重ねたが、社会的認知度が低いなどから実現には至らず、その後資金調達と広報活動を同時に行えるCFに方法を変更。準備にあたり当事者が置かれている社会背景などをSWの視点も含め広告を作成。開始に伴い、地元新聞を始め、各種支援団体へ周知し無事目標額を達成。一手段として取り入れた方法が医療機関単一の取り組みから、企画に賛同した当事者や支援者が主体的に参画できる、ソーシャルアクションへと展開した。②「制作期間」 書籍の内容として、当事者家族、支援機関へのインタビュー、過去のSW支援記録などから7話の物語を作成。各話には障害が後遺する前の生活や人柄、受傷後の葛藤、

演題発表

転機となった環境の変化や、外来支援に長く携わっていたことで立ち会うことが出来たエンパワメントの場面を載せた。また記憶障害や注意障害があっても読むことが出来るよう、文字の配列や表現など工夫した。原稿は本人、家族にも相談しながら進め、イラストや音声読み取りコードの挿入に発達障害、視覚障害を持つ当事者の協力を得た。各話ごとにあとがきや用語説明の項目を作り、家族や支援者に障害理解を深める情報や、一般の方にもわかりやすい説明も加えた。書籍制作以外においても、CFに使用する返礼品に、高次脳機能障害の当事者が多く通う就労支援事業所の商品を採用し、障害を持つ人の就労の場の拡大に繋げた。③「完成後」完成した書籍は、道内の養護学校や医療機関、全国の支援機関に献本し、残りを福祉機関へ業務委託し一般販売を行った。当事者向けに構成した書籍であったが結果的に様々な立場でも読める内容のものとなり、障害理解の促進やアドボカシーの役割だけでなく、ピアサポート的役割として支援の輪と繋がるのが難しい人たちに寄り添う一冊となった。また関係機関からも外来の待合室や家族会の貸し出しに使用しているなどの報告を受け、地域の広報誌に掲載されるなど当初想定していた以上に幅広い領域に普及啓発を行うことが可能となった。

【結論】

高次脳機能障害の支援普及の目的に書籍を製作した。製作には当事者、家族を始め地域の協力があり、CFに関しては目的に賛同した当事者が返礼品製作や広報活動に対し主体的に動いたという報告が聞かれ、道内外から寄せられた支援は書籍を通して普及啓発という形で各自治体に還元することが出来た。実現に至った背景には、担当するMSWが社会復帰や地域活動など外来支援に比重を置ける立場であり、所属機関からの後押しも受けられた影響も大きい。そういった属性や現状の診療報酬におけるMSWを取り巻く状況から本実践の一般化には限界がある。2020年の社会福祉法改定において疾患や領域別に機能分化した支援体制から、複合的なニーズに対して包括的支援を提供するべく地域づくりや社会参加支援という文言が盛り込まれた。MSWが地域から期待される役割に応じられるよう、労働環境や待遇面を含め前向きな変化が見られることを望む。

協 賛 一 覧

北翔大学同窓会 淑萃会
老後のあんしん札幌相談室(エイジフレンドリー株式会社)
株式会社TASKAL ふれあい北海道
株式会社SINCERITY
株式会社明宝(高齢者住宅・施設紹介札幌相談センター雅)
公益社団法人 北海道勤労者医療協会
株式会社サンウェルズ PDハウス月寒
有限会社オムコ北海道
医療法人社団札幌朗愛会 札幌朗愛会病院
株式会社モルス
株式会社ノアコンツェル
こばやし矯正歯科クリニック
花川病院
あいの里アットホームクリニック
社会福祉法人 翔陽会(居宅介護支援事業所 清明庵)
いわなみ在宅緩和ケアクリニック
医療法人はまなす
合同会社ほくそう(介護タクシーアイフット)
株式会社アメニティ
株式会社 北海道フォレスト
柏楊印刷株式会社
医療法人訪友会 さっぽろ在宅医療クリニック
旭川市立大学 保健福祉学部コミュニティ福祉学科
環境開発 株式会社



心に寄り添い真心込めた
「安心」をお約束します

株式会社 **SINCERITY**
シンセリティ

家財整理

「生前整理」や「遺品整理」の技能資格を持ったスタッフが、ご依頼者様のご要望や想いを汲み取り、できる限り負担が掛からないよう心に寄り添いサポートします。

引っ越し

賃貸、戸建て、病院からの引っ越し、介護制度の見直しによる介護事業所への移転、単身者の方の引っ越し等、北海道全域を対象地域として幅広く対応しております。

特殊清掃

一般清掃業務の他、亡くなられた時間の経過が原因で腐敗が進んでしまったご遺体があった場所等の清掃、消毒、除菌、消臭、害虫駆除を行い原状回復いたします。

不動産の売却

家財整理後、ご自宅の売却や建物解体等の手続き、後の資産運用(月極駐車場、賃貸等)のご提案、不動産賃貸借契約業務、運営管理を一括で行います。※札幌市近郊に限定

多様な手続きの
一元化で
費用の負担を
大幅に軽減できます

身元保証サービス

身寄りがなく身元保証人がいない等、お悩みを抱えている方への介護施設の入居者に対する金銭保証、定期訪問による生活状況の確認及び生活支援等を行っております。

わかりやすく親切丁寧にお応えいたします

(株)シンセリティの身元保証は、年齢も信用も関係ありません。お気軽にご相談ください
※介護施設等に入所される方で連帯保証人が準備できない方に限ります。(一般の賃貸住宅には現在対応しておりません)

生活保護の「三社見積もり」対応します

正式な見積り後の追加料金はありません

お見積り
ご相談
無料

【専任スタッフ制】 お見積りの際にお伺いしたスタッフが最後まで担当いたします。
ご要望・ご希望が伝わらない等のご心配はご無用です。

受付時間
【月～金】
9:00～18:00

お見積り・ご相談、お気軽にお問い合わせください

☎ 0120-952-955



「誠意と熱意で善意に尽くす」シンセリティ
株式会社 **SINCERITY**

北海道全域対応
URL : hokkaido-sincerity.com
札幌市北区北11条西4丁目2番21号

ホームページを
是非ご覧ください
▼▼▼▼


入居相談受付中



PDハウスを
動画でご紹介!



パーキンソン病専門ホーム サービス付き高齢者向け住宅
PDハウス月寒 北海道札幌市豊平区
月寒西4条6丁目1番50号

2023年1月OPEN

59室

入居のご相談はこちらへ

☎ 011-826-3233

【受付時間】9:00～17:00

ご利用料金(月額)

163,400円

PDハウス西野

サービス付き高齢者向け住宅



- 住所 北海道札幌市西区西野6条2丁目8番20号
- 居室数 46室
- アクセス 札幌市営地下鉄「発寒駅」より車で5分
- 電話 011-215-5966
- 料金(月額) 158,800円

PDハウス西宮の沢

サービス付き高齢者向け住宅



- 住所 北海道札幌市手稲区西宮の沢4条3丁目3番34号
- 居室数 45室
- アクセス JR函館本線「発寒駅」より車で5分
- 電話 011-215-7836
- 料金(月額) 156,800円

対象疾患

パーキンソン病、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症
多系統萎縮症、脊髄小脳変性症の方も対応いたします。



株式会社サンウェルズ
<https://sunwells.jp>

笑顔絶やさず。優しさを忘れず。
タナカメディカルグループ



博友会

介護

介護医療院 **127名**
博友会
特別養護老人ホーム **90名**
愛輪園
介護老人保健施設 **100名**
愛の里
ケアハウス **100名**
ホワイトキャッスル

病院

札幌田中病院 **334床**
札幌緑誠病院 **342床**
札幌宮の沢病院 **355床**



札幌田中病院

大きな輪であなたを支えます
タナカメディカルグループ

在宅介護支援

居宅介護支援事業所
愛輪園

札幌市手稲区介護予防センター
新発寒・富丘・西宮の沢


住まい

サービス付き高齢者向け住宅

ライフコート宮の沢 **83戸**
ライフコート西野 **82戸**
ライフコート手稲 **81戸**
ライフコート手稲西 **78戸**
ライフコートガーデン南館 **81戸**
ライフコートガーデン東館 **80戸**
ライフコート西宮の沢 **80戸**
ライフコートステラ **51戸**



ライフコート西宮の沢

タナカメディカルグループ相談センター  **0120-558-750**

www.tanakamedical.net


TANAKA MEDICAL GROUP



聴覚の未来を創る。



超磁歪式 PRESTIN® エンジン搭載
感音性難聴に効果が実証された唯一の聴覚サポートデバイス

罹患原因が違う40症例について国立病院機構東京医療センターでの臨床テスト結果

評価者：加藤孝先生（東京大学名誉教授、国立病院機構東京医療センター臨床（感音性）研究センター名誉センター長）

難聴タイプ	検査	結果
1 軽中度難聴（25～70デシベル） すくすくで、ゆっくり大きな声で話すと聞き取れる	(a) 感音性難聴	◎ 通している
	(b) 伝音性難聴	◎ 通している
2 高度難聴（71～90デシベル） 耳元で大きな声で話すと聞き取れる	(a) 感音性難聴	◎ 通している
	(b) 伝音性難聴	○ 症状によるが、反対の方に効果が期待できる
3 外耳道閉塞症		◎ 通している
4 Auditory Neuropathy		◎ 通している
5 重度難聴（91デシベル以上）		× 効果なし
6 大聴覚障害		× 効果なし

厚生労働省

FILLTUNE WeCLEARは、厚生労働省の平成25年度障害者自立支援機器等開発事業に採択、臨床試験において、高度難聴を中心とした被験者の6割が確かな聴こえが実証された技術から生まれました。

補聴器の聴こえに満足していない・違和感を感じている人にとって、「希望」となるプロダクトであると考えています。

製品説明
動画でごらんください



ニーズに合わせて色々な方法で、様々なシーンで活用いただけます

いつもの会話をよりスムーズに



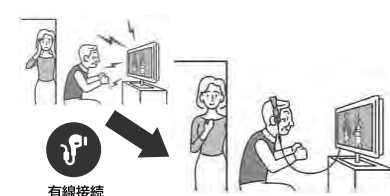
大事な話をしっかりと聞きたい



いつでもどこでも繋がれる



生活の中の楽しみを簡単に!



WISM 株式会社 ムトウ

札幌 本社 〒001-0011 北海道札幌市北区北11条西4丁目1番15号 TEL:011-746-5111
 東京 本社 〒110-8681 東京都台東区入谷1丁目19番2号 TEL:03-3874-7143
 名古屋事業本部 〒465-0014 愛知県名古屋市中区上管2丁目1108番地 TEL:052-799-3011
 大阪事業本部 〒537-0002 大阪府大阪市東成区深江南2丁目13番20号 TEL:06-6974-0550
 福岡事業本部 〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代4丁目29番27号 TEL:092-641-8161





「ずーっと。」

人と社会を支える

私たち溪仁会グループは、
社会的責任(CSR)経営を推進します。
高い志と卓越した保健・医療・介護・福祉サービスにより、
「一人ひとりの生涯にわたる安心」と
「地域社会の継続的な安心」を支えます。

溪仁会グループ

医療
法人 溪仁会

社会福祉
法人 溪仁会

株式会社ソーシャル
医療法人 稲生会

回復期医療・慢性期医療
札幌西円山病院 [中央区]
直通TEL 011-642-5800

高度急性期・専門医療
手稲溪仁会病院 [手稲区]
直通TEL 011-685-2976

回復期医療
札幌溪仁会リハビリテーション病院 [中央区]
直通TEL 011-688-5163

慢性期医療
定山溪病院 [南区]
直通TEL 011-598-3214

家庭医療
手稲家庭医療クリニック [手稲区]
代表TEL 011-685-3920

溪仁会グループホームページ
<https://www.keijinkai.com/>



アメニティ
レンタルの
ご案内

24時間ご利用可能なので安心

清潔な院内・施設内環境を保てます (院内感染の防止)

看護・介護職員さま、事務職員さまの業務軽減 (人員不足の解消など)

患者さまと来院された方を区別できます (防犯上の管理)

緊急入院や災害時にも利用可能です



入院も退院も、 手間いらず。

安心しておまかせしていただける理由

1,000施設 約17万床の採用実績

Pマーク取得という信頼性

ISO取得という信用性

導入事例の見学も可能

アフターサポートも万全

株式会社アメニティ 札幌営業所
北海道札幌市中央区南4条西6-11-2
全日ビル 7階
TEL:011-218-9888

株式会社アメニティ 帯広営業所
北海道帯広市西5条南13-8-1
第2いせきビル 2階C
TEL:0155-66-9288

株式会社アメニティ 旭川営業所
北海道旭川市2条通19丁目379-1
ルート2.19 1階
TEL:0166-76-9567

<http://www.amenity-ss.co.jp/>

「アメニティセット」および「アメニティサポートシステム」は株式会社アメニティの登録商標です。





**福祉マネジメント学科で
新たな地域づくりに貢献するリーダーに。**

医療系総合大学ならではの学び

道内最大の6学部9学科に加え、専門学校の学生と共に、多職種連携教育を1年から4年まで学びます。社会福祉士の実習前にはOSCE(客観的臨床能力試験)の実技テストを経て、実践の場に臨みます。医療系総合大学だからこそできる学内・学外の経験の積み重ねで実践力を身につけます。



地域とつながり、「生きた福祉」を学ぶ

現場のニーズを体感しながら学ぶ課題解決型学習を1年次から取り入れ、3年次の「地域共生社会演習」では学外で地域の課題、活用できる社会資源、暮らす人のニーズをヒアリングし、調査結果をもとに事業構想を考えるなど、教科書だけでは学ぶことのできない「生きた福祉」を学びます。



学生と教員との距離が近いのも本学の特長。道内各地や道外からも集まる学生たちは、学科の教員・先輩・後輩だけでなく、他学科の学生との4年間のかかわりを経験し、将来の社会福祉を支える専門職へと成長します。



6学部9学科の学びの詳細は受験生応援サイトへ ↓ ↓

お問い合わせ 入試広報課 0120-068-222

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757 E-mail:nyushi@hoku-iryo-u.ac.jp

- 薬学部 薬学科
- 歯学部 歯学科
- 看護福祉学部 看護学科
- 看護福祉学部 **福祉マネジメント学科**
- 心理科学部 臨床心理学科
- リハビリテーション科学部 理学療法学科
- リハビリテーション科学部 作業療法学科
- リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科
- 医療技術学部 臨床検査学科
- 歯学部附属歯科衛生士専門学校



老人ホーム・介護施設無料紹介所



まか
せて
安心
あな
たに
ベス
トな
老後
の住
まい。

老人ホーム無料紹介所
老後のあんしん
札幌相談室

老後のあんしん 札幌



住まい探しの専門家が老人ホームや
介護施設探しをサポート



1 老後の住まい探し

ご要望に応じた介護施設・高齢者住宅をご紹介します。数ある施設の中からご利用者様に合ったベストなご提案を致します。



2 プロによるサポート

「高齢者住まいアドバイザー検定」を取得している経験豊富な相談員が親身になってお話しを伺い、的確なアドバイスを行います。



3 入居後のアフターフォロー

ご入居後も、お困りごとのご相談をお受け致します。入居様が安心して生活できるように、万全なアフターフォロー体制を整えています。

rougonoanshin.com



良い施設ってありますか？

私たちは高齢者住宅選びの支援をしている業者です。

紹介会社近年増え、今では知らない方の方が少ないです。
比例するように、どの業者に頼むか悩む声も多くなってきました。

お勧めは複数の業者に探して貰い使いやすい業者を選ぶことです。
当社では下記の動きは当たり前の姿勢としています。

業者を見比べる際の参考にして下さい。

- 1.希望条件に沿っているのは勿論、選定理由を正直に話します。
- 2.該当施設が無ければ具体的にその理由を正直に話します。
- 3.入院中であれば退院期日厳守でスピード感を持って対応すること。

「良い所ですよ」と資料を持って行く営業の方が、
何をもつての良さなのか説明できる方が業界的に少ない印象を受けます。

昨今、介護職員の人員不足も問題です。働き手の負担も理解した上
でお伝えしますが、ケアが十分に行き届いている事業所は少数です。

「定期巡回型訪問介護看護だから訪問介護より安心です。」
「小規模多機能型居宅介護が併設しているから安心です。」
一部ですが、紹介業者や施設の営業担当者から聞くことがあります。
本当に安心できるのでしょうか。

人員基準も足りているのか、現状サービスが回っているのかどうなのか。
私たちの視点で正直に話してあげることが大切だと考えています。
不安要素も伝えた上で、本人、家族の価値観に少しでも合う場所を提案
できる仲間が増えると嬉しく思います。

詳しくはどのような内容でも気軽にお問合せ下さい。

転居までの全サポートも行っています
申請関係 引越し 家財整理 一般賃貸 売買など



介護・不動産有資格者による

新しい住まいとその後のお手伝い

株式会社ケームライン

電話番号 | 011-666-7896 / 011-688-5532

ウェブサイト | <https://kermline.com>

営業時間 | 9:00-18:00

株式会社TASKAL

ふれあい北海道



老人ホーム紹介

サービス案内



お引越



家財整理



不動産売却

お問い合わせ窓口



0120-556-201

2023年ふれあい北海道は・・・

老人ホーム紹介料を 社会資源に変える会

発足!!!



24時間365日ケアスタッフ常駐

学研のサービス付き高齢者向け住宅

☑入居一時金0円、月11万円台～ ☑自立～要介護まで幅広くご入居可能

☑各種居室タイプ有 **【Aタイプ：単身用（介護向き） Bタイプ：単身用（自立向き）
Cタイプ：二人用（ご夫婦はもちろん、兄弟姉妹、親子も可）】**



ココファン東札幌

〒003-0004
白石区東札幌4条3丁目1-36
地下鉄東西線「東札幌駅」
徒歩5分

居室数：61室

併設事業所

- ・訪問介護
- ・通所介護
- ・居宅介護支援



☎ 0120-999-384



ココファンすみかわ

〒005-0003
南区澄川3条4丁目4-10
地下鉄南北線「澄川駅」
徒歩6分

居室数：57室

併設事業所

- ・訪問介護
- ・通所介護



☎ 0120-999-865



ココファン札幌南平岸

〒062-0932
豊平区平岸2条14丁目1-18
地下鉄南北線「南平岸駅」
徒歩5分

居室数：51室

併設事業所

- ・訪問介護



☎ 0120-953-201



ココファン環状通東

〒065-0013
東区北13条東15丁目3-29
地下鉄東豊線「環状通東駅」
徒歩5分

居室数：52室

併設事業所

- ・訪問介護



☎ 0120-965-130

今後の新規開設予定！

☑ 2023年12月OPEN予定！ココファン発寒(仮称)

住所：西区発寒8条14丁目（以下未定）

☑ 2024年11月OPEN予定！ココファン新琴似(仮称)

住所：北区新琴似11条2丁目（以下未定）

全国200棟

10,000室超

運営の実績と信頼

学研 Cocofump

学研の高齢者住宅

ケアとお役立ち情報



業界店舗数
NO.1

国家資格有り

鍼灸とマッサージの 施術師が伺います!

訪問
鍼灸

訪問
マッサージ

KEiROWが
選ばれる理由

1) 業界店舗数NO.1

全国に280店舗を展開

順次エリアを拡大しており、確かな実績と安心があります。

2) 介護現場に「機能回復」を実現したのはKEiROWだけ!

リハビリ機能回復士・誤嚥防止指導員が揃っており、理学療法的な根拠に基づいた質の高い施術を行います。



3) 健康保険適用

健康保険を使うことが可能です。

1割負担の方:約500円

※保険適用には
医師の同意が必要です。

4) 不正請求を 限りなく「0」へ!

圧倒的グループ数により不正請求を限りなく0にすることが可能となりました。WEBシステムを活用することで、不正請求を防止しております。

5) 精神的ケア

お伺いした際に、ご利用者様のお話相手となることで精神的なケアも行います。

訪問マッサージ

KEiROW 札幌中央区ステーション
札幌市中央区南四条東1-4-1 フォーシーンビル211号

お問い合わせ

TEL 011-556-1226

受付時間 8:30~17:30(年末年始を除く平日)

お試し体験・マッサージ実施中!

お電話1本でお伺いします!

白石区初、天然温泉付有料老人ホームの ノアガーデンシリーズ誕生。



Sei Verisa

天然温泉付有料老人ホーム

ノアガーデン

セイベリッサ 全120室

シニアのためのこだわりが詰まった安心・安全な邸宅が
今秋、いよいよ白石区に誕生いたします。



札幌市白石区本郷通1丁目北2-2
●単身部屋105室・ご夫婦部屋15室
●10階建て

2023年10月 新棟オープン

●● 天然温泉付デイサービス併設 ●●

●● 充実した介護と看護 ●●

入居相談
受付中!



要介護3・4・5の方も安心して
ご入居いただけます。

介護スタッフ **24時間常駐** & 日中帯**365日**
ナース常駐

月々のお支払い **110,600円** 家賃、共益費、生活サポート費、3食・食費込
※別途介護保険サービスをご利用の場合は、サービス費が発生いたします。
※お部屋によって利用条件等がございます。

NOAH GARDEN
札幌市内26施設で運営中!!

中央区 白石区 東区 豊平区
清田区 南区 西区 手稲区



株式会社ノアコンジュエル

ノアガーデン
入居相談センター

011-813-5517

ノアガーデン 検索 <http://www.noah-group.jp>

ここいいな

QRコードを
読み込んで
アクセス!





医療法人社団
清和会

南札幌病院

理事長 服部 紀志子 院長 相川 忠弘

- ・内科・腎臓内科・糖尿病内科・呼吸器内科・循環器内科
- ・消化器内科・リハビリテーション科・人工透析・各種健診



〒064-0809

札幌市中央区南9条西7丁目1番23号

電話(011)511-3368 FAX(011)511-1862

URL <http://www.minamisapporo.or.jp>

<関連施設>

やまはな訪問看護ステーション ☎(011)511-2896

やまはな介護サポートセンター ☎(011)512-1150

〒064-0809 札幌市中央区南9条西7丁目1番23号

迅速

丁寧

高品質

お客様の納期に間に合う様、迅速に対応します。

打ち合わせから納品まで丁寧に対応します。

アナログ原稿からデータ入稿まで高品質に仕上げます。

「論文集」「業績集」などから「名刺」、「ポスター」まで
印刷のことなら何なりとご相談ください。

ご希望に沿う仕上がりを
お約束します。

八 柏楊印刷株式会社

〒007-0802 札幌市東区東苗穂2条3丁目4番48号

TEL(011)789-2377(代) FAX(011)789-2376

E-mail: hakuyo_a@f4.dion.ne.jp <http://www.hakuyo-print.jp>



サハスネットグループ

地域の中で、自分らしく暮らしたい。

サハスネットは、そのお手伝いをする福祉サービスの会社です。

◆市内に9か所障がい者グループホームを運営

入居のご相談やお問い合わせは ☎0154-64-6177

◆相談支援事業所に気軽にご相談を

◆病院や施設から地域への移行のお手伝い

◆地域で暮らしやすい基盤づくりのお手伝い

◆住宅の確保が困難な方へのお手伝い



気軽にお問合せください ☎0154-22-2277

〒085-0033 釧路市若松町1-4番1-1号 本部 TEL&FAX 0154-22-2880
URL <http://www6.marimo.or.jp/sahasnet/>



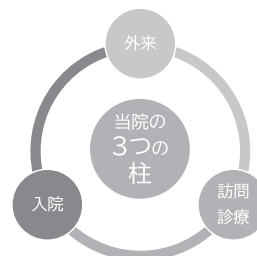
医療法人社団 眞明会

今医院

KON CLINIC

より良き、かかりつけ医を目指して

患者さまが地域で暮らし続けられるように、少し先の生活も見据えて、患者さまとご家族様の「より良き、かかりつけ医を目指して」いきます。



併設事業所

- りいケア指定居宅介護支援センター
- サービス付き高齢者向け住宅 りいの郷



医療法人社団 眞明会
今医院

住所：〒001-0025 札幌市北区北25条西8丁目2-3
電話：011-716-9255
<https://www.kon-clinic.com>



物語を、動かそう。

Your Story is Our Story.

【北翔大学】

スポーツ教育学科 健康福祉学科
教育学科 芸術学科
心理カウンセリング学科

【北翔大学短期大学部】

こども学科

【北翔大学大学院】

人間福祉学研究所 生涯学習学研究所
生涯スポーツ学研究所



〒069-8511 江別市文京台 23 番地
011-386-8011(代) FAX 011-387-1542
www.hokusho-u.ac.jp



<https://sibasakura.com>

居宅介護支援事業所 芝さくら

まずは一度ご紹介ください!

- ✓ 新規申請からご相談承ります!
- ✓ 看取りケースもお受けします!
- ✓ 現在、ケアマネージャー16名在籍!
- ✓ 相談室併設!

株式会社 芝さくら

〒002-0854 札幌市北区屯田4条3丁目13-2

TEL 011-838-0790/FAX 011-351-5729

<https://sibasakura.com/slowlife/>

R5年4月1日開設!
障害者グループホーム
すろーらいふ

〒006-0819
札幌市手稲区前田9条14丁目2-21



ソーシャルワーカーの皆様、日々の患者様・ご家族様と調整等
日常の業務で以下のようなお困りの件はございませんか？

- ① 担当の患者さんが様態急変した、身寄りがいないけど葬儀や遺骨は？どうしよう？
- ② 担当の生活保護受給者が危篤状態、葬祭費が申請できないケースってあるの？
- ③ 親族が遠方から駆け付けるまで一旦ご遺体を預かってもらうことはできるのかな？
- ④ 遠方へ安心にご遺体搬送・ドライアイス・処置等すべてを任せられる業者はある？

上記のようなお悩み、疑問、不安な点なんでも(有)永蓮にご相談ください

福祉葬・家族葬・一般葬ご相談ください。安心と信頼をお約束いたします。

えい れん
(有)永蓮 セレモニーホール フェアウェル札幌

フリーアクセス ご供養の役に立つ
0120-594-892 へご相談

札幌市東区北34条東22丁目1-33 (札幌新道沿い)

TEL 011-789-4444 FAX 011-789-4445


※ (一般葬) 市内提携斎場・(家族葬) 札幌近郊・市内ウイズハウスのご利用もできます。

診療科目 リハビリテーション科・内科
病床数 180床
(回復期リハビリテーション病棟150床・
地域包括ケア病床30床)

医療法人 喬成会
リハビリテーション
花川病院
HANAKAWA HOSPITAL

〒061-3207 石狩市花川南7条5丁目2番地
TEL 0133-73-5311 (代表)
FAX 0133-73-5243
<http://kyouseikai.jp>





ヘルプステーション 樹
(訪問介護、居宅介護、重度訪問介護、
同行援護、行動援護)
TEL 011-512-5045

ケアサポートセンターさっぽろ
(居宅介護支援)
TEL 011-213-0036

訪問看護リハビリステーション 樹
(訪問看護)
TEL 011-807-5680

高齢者住宅 樹の杜
(住宅型有料老人ホーム)
TEL 011-512-5045

～万全なサポート体制で安心・安全・快適な暮らしを提供いたします～

合同会社 樹
〒003-0835 札幌市白石区北郷5条8丁目3-13
TEL 011-512-5045 FAX 011-200-0535

介護タクシー アイフット

福祉車両大型車2台・普通車3台の計5台/車椅子・リクライニング車イス・ストレッチャーの対応 OK
 車イスは階段・段差は2名対応でOK/ストレッチャーは2名対応、付添もOK
 車イス・ストレッチャーでの入退院の際、ご自宅対応もOK/車載医療設備により看護師の対応もOK
 札幌市内及び道内全域も安全搬送OK/往復(片道)のご予約でお迎えOK

☆ご予約フリーダイヤル ☎ 0120-995-660

合同会社ほくそう 011-747-5756

2023年4月 社会福祉学部が新たにSTART!

★社会福祉学科を新設 ★福祉心理学科は心理学科へ名称変更



Hokusei Gakuen University
北星学園大学
北星学園大学短期大学部

札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号
TEL 011-891-2731(代表)
【地下鉄東西線大谷地駅1番出口徒歩5分】

公式 Instagram 

北星学園大学大学院

【文学研究科】言語文化コミュニケーション専攻
 【経済学研究科】経済学専攻
 【社会福祉学研究科】社会福祉学専攻/臨床心理学専攻

北星学園大学

【文学部】英文学科/心理・応用コミュニケーション学科
 【経済学部】経済学科/経営情報学科/経済法学科
 【社会福祉学部】社会福祉学科/心理学科
 福祉計画学科/福祉臨床学科

北星学園大学短期大学部

英文学科/生活創造学科

西出グループ 環境開発株式会社



介護事業内容：高齢者住宅と施設および介護サービス業

●認知症対応型共同生活介護 ●認知症対応型通所介護 ●通所介護 ●訪問介護 ●小規模多機能型居宅介護 ●地域密着型特定施設入居者生活介護

●のぞみの里 赤平

079-1151 赤平市宮下町3丁目1番地
グループホーム のぞみの家 本館.2.3号館
tel : 0125-32-2003 fax : 0125-32-2000
デイサービスのぞみ 1.2号館
tel : 0125-32-7002 fax : 0125-32-7003

●のぞみの里 旭川

079-8419 旭川市永山9条3丁目1番地
サービス付き高齢者住宅 のぞみグリーント永山
tel : 0166-47-2333 fax : 0166-47-2133

●のぞみの里 手稲

006-0031 札幌市手稲区稲穂1条8丁目4番18号
サービス付き高齢者住宅 のぞみグリーント手稲
tel : 011-685-6000 fax : 011-685-6000

●有限会社 リアン

岩見沢市栄町2丁目1-9

ケアホーム えみな栄町



リネンサプライ・病院寝具リース・カーテンリース
ユニフォームリース・介護用品販売・寝具類販売
床頭台、家具販売（病院施設用）



株式会社

北海道シルバーサービス

〒065-0032 札幌市東区北32条東9丁目2番10号

TEL(011)723-6100 FAX(011)723-6111

[URL] <http://h-silver.co.jp>

[E-mail] h-silver@lime.ocn.ne.jp

社会医療法人社団愛心館 介護老人保健施設プラットホーム

全室ユニット型個室(定員80)
超強化型
ショートステイ(空室利用)
通所リハビリテーション(定員60)
訪問リハビリ

札幌市北区あいの里2条1丁目20-1
TEL 011-776-3037 FAX 011-776-3039
E-mail Platfrom@aishinkan.jp
URL <https://www.aishinkan.jp>



くにもとメディカルグループ

医療、認知症、看取りケア 私達にお任せください

旭川 遠方からの入居もスピード対応
住宅型有料,グループホーム 合計11拠点
札幌 住宅型有料,介護付有料,ナーシングホーム
グループホーム 合計21拠点
江別 グループホーム2拠点
苫小牧 グループホーム4拠点



札幌本社 011-768-7230
旭川本部 0166-25-2258



<https://kenkohkai.jp>

人を想い、愛あふれる未来を創る

株式会社 健康会

第66回北海道医療ソーシャルワーク学会 運営委員会

学 会 長 志田 大和 (市立札幌病院)

運営委員長 山田 悠平 (南札幌病院)

運 営 委 員 中央B 支部

長正路 ひとみ

中山 礼奈 (札幌西円山病院)

玉川 侑那 (北海道大学病院)

黒澤 智尚 (小規模多機能ホームゆかい西野)

吉野 夕香 (北海道医療大学病院)

中野 達郎 (土田病院)

貝田 将隆 (札幌西円山病院)

小木 絢介 (花川病院)

鈴木 基之 (札幌西円山病院)

斉藤 俊輔 (斗南病院)

教育部

沖 隆一 (天使病院)

小倉 睦美 (北海道消化器科病院)

藤田 幸司 (勤医協札幌病院)

上西 夏実 (新さっぽろ脳神経外科病院)

高木 千佳 (札幌南徳洲会病院)

寺口 真衣 (札幌市手稲区第1 地域包括支援センター)

高泉 一生 (専門学校北海道福祉・保育大学校)

<お問い合わせ先>

一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 事務所

電 話 : 011-211-1310

(平日 月曜・火曜・金曜 10:30~12:30、13:00~15:30)

メー ル : mswjimuso@hmsw.info

